



日化協レスポンシブル・ケア賞選考規約

1. 目的

この表彰制度は日本化学工業協会RC委員会会員企業であって、レスポンシブル・ケア(以下RC)の活動に優れた功績あるいは貢献をした事業所、部門、グループまたは個人を表彰することにより、RC活動意欲の向上、奨励を図るものである。

2. 対象となる実績

- 1) RCの6コード(保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全)に関する活動で顕著な成績を残したもの。
- 2) 企業内のRC活動の推進にあたり、率先して実施し、顕著な貢献のあったもの。
- 3) RCの海外活動に貢献したもの。

3. 受賞者

推薦時点でRC委員会会員企業である事業所、部門、およびそれらに所属するグループまたは個人とする。なお受賞者が、同一年度において、複数の受賞案件の対象者となることを拒むものではない。

4. 表彰件数および賞

RC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞、RC努力賞として表彰する。

RC優秀賞は原則として、最大6件(RC大賞/RC審査員特別賞含む)、RC努力賞はRC賞の推薦水準を満たす案件のうち、RC優秀賞に惜しくも漏れたものとする。

RC大賞はRC優秀賞候補の中からRC賞審査会議で選出する。内容によっては選出しない年度もある。また、RC賞審査会議でRC大賞には至らなかったが非常に優れた活動と評価された場合、議長を含めた審査委員の過半数の賛成によりRC審査員特別賞を授与する。RC審査員特別賞はRC大賞同様に選出しない年度もある。

5. 募集

毎年8月、RC委員会会員企業にRC賞募集案内を送る。応募期限は12月とし、年内に応募者を確定する。

6. 推薦

- 1) RC委員会会員企業が推薦者となる。
- 2) 推薦者は活動内容・成果等を記載した推薦書および必要に応じて説明資料を日化協事務局に提出する。
- 3) 推薦者は1件のみ推薦できるが、受賞対象者が複数社で構成される場合も推薦できる。同一年度に他の日化協賞に推薦された案件と重複して推薦することはできない。また、過去にRC賞を含む日化協賞のいずれかの賞を受賞した案件とまったく同一内容もしくは若干の修正を加えたのみの案件を推薦することはできない。

7. 選考および審査要領

1) 各賞候補の選考

推薦のあった案件につき、日化協RC委員会会員交流WGにて各推薦案件がRC賞の推薦水準を満たすことを確認の上、その中からRC優秀賞候補(原則として最大6件)の選考を行う。なお、必要に応じて推薦者(代理人での対応も可能)の面接、および現地調査を行う。

RC優秀賞候補の選考後に行われるRC賞審査会議において、各RC優秀賞候補によるプレゼンの後、RC大賞、RC審査員特別賞およびRC優秀賞の候補を決定する。ここで、これらの賞の候補に選考されなかったRC賞の推薦水準を満たす応募案件は、RC努力賞候補とする。

2) 日化協RC委員会幹事会での候補の評価

RC賞審査会議で決定したRC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞、RC努力賞の各候補の妥当性を評価する。

3) 日化協理事会での候補の承認

日化協理事会にてRC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞、RC努力賞の承認を行う。承認をもって、各賞の決定とする。

8. 賞の発表と贈呈

各賞に対しては、日化協総会にて表彰を行う。

RC大賞 : 副賞30万円、盾、賞状

RC審査員特別賞 : 副賞20万円、盾、賞状

RC優秀賞 : 副賞15万円、盾、賞状

RC努力賞 : 副賞 5万円、賞状

RC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞受賞者は日化協シンポジウムおよび会員交流会で受賞講演を行う。また、RC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞、RC努力賞の各受賞テーマはRCニュースの記事として受賞を周知する。

9. 倫理規範

- 1) RC賞審査に関わる委員は、受賞者の選定にあたり、公正で中立の立場で発言すると共に、選考を行わなければならない。
- 2) RC賞審査に関わる委員は、受賞者の選定にあたり知り得た情報を正当な理由なくして公表、利用してはならない。

10. その他

本要領についての改定は会員交流WGの提案を受け、RC委員会幹事会で行う。

2006年10月制定、2008年10月改定、2013年1月改定、2014年3月改定、2014年11月改定、
2016年10月改定、2023年4月改定